

生き立ち

むかし、とても上手なアーティストがいました。多くの人はその人を「ルネサンスの天才」とよびました。その人の名前はミケランジェロです。

彼の世界で有名な作品は、システィーナ礼拝堂の「神の創造」と「ダビデの彫刻」です。

人々が「どうしてダビデを作ったのですか」と聞くと、ミケランジェロは言いました。

「ダビデはもう石の中にありました。私はただ、けずって出しただけです。」

私はこの話と少し同じだと思います。私もまだ「作られている途中」で、毎日のしれんやまちがいの中で、少しづつ自分の形が見えてきています。

去年、私の家族にとってとても大変な年でした。家族はしばらく家をはなっていましたが、祖父のお世話をするために帰りました。

でも、2年以上お世話をしたあと、祖父は亡くなりました。

その後、私は銀行で働きました。仕事はよかったです、自分の夢を追いたかったので、会社をやめました。

私の夢は、日本語を勉強して、日本で働くことです。

ダビデの彫刻のように、私は「勝利のあと」ではなく、「始まる前のしづかな時間」にいると思います。私は少しのアイデアと、小さな勇気を心に持っています。

私は今も日本語を勉強していますが、日本語の勉強は長くて曲がった旅のようだと思いません。かんたんではありませんが、少しづつ強くなれる信じています。

ダビデのように、しづかにじゅんびして、けんそんの心でがんばりたいです。毎日、少しづつ上を目指して、チームにやくに立つ人になりたいです。

むかし、ミケランジェロのダビデは、だれも使えないと言われた大きな石から作られました。でも、ねばり強さと心で、世界の名作になりました。

私はその石と同じだと思います。まだ未完成ですが、毎日勉強して、少しづつよくなりたいです。